

市民意見募集(パブリックコメント)結果

「第2次和歌山市立博物館基本計画」に対するご意見を募集した結果、63件のご意見をいただきましたので、次のとおり公表します。

■募集案件の概要

募集案件	第2次和歌山市立博物館基本計画（案）
受付期間	令和7年7月1日～令和7年7月31日
ご意見の件数	12名・63件

■ご意見の概要と市の考え方

<第1章 基本計画策定にあたってに係る部分>

No	ご意見の概要	市の考え方
1	P1の『2 計画策定の目標・意義』の一部文章について。令和2年度に作成された基本計画では、『(前略)管理運営の改善等について今後の方向性を示すため～』と書かれていましたが、今回の第2次基本計画案には『(前略)管理運営方法の改善等について今後の方向性を示すため～』と書かれています。 いま直営で運営している博物館の運営方法を見直して「DBO方式など民間委託や指定管理者制度の導入等」が視野にあるのではないですか。計画案の最初から、直営での運営方法を見直すかもしれない文章を組み込むのはおかしいと思います。 公共の文化施設の運営方法は『直営』がいいのです。県立博物館や県立美術館や県立図書館と同じく。よって、『管理運営方法の改善等』から『方法』を抜いて、『管理運営の改善等』に書き換えていただけますか？	計画中に「管理運営方法」や「管理運営」などの表記ゆれがありましたので、ご指摘のところは「管理運営の改善等」と修正いたします。 なお、第7章において、「柔軟に対応するために、不断の見直しを行います」と記載しているとおり、現行の管理運営のあり方を変更することを前提としているものではなく、あらゆる可能性を否定せずに研究を実施するものです。

2	P3『5 計画策定の背景』の文章『再活性化に資するための対応が求められています。』の箇所ですが、『再活性化』とは『にぎわい』を指しているのではありませんか？ 博物館は設置の目的にある通り、『教育、学術及び文化の発展に寄与するため』にあります。学校教育に活用するよう頑張った結果の『にぎわい』なら理解できるのですが、それ以外に『にぎわい』を求める必要があるのでしょうか？よって『再活性化に資するための対応が求められています。』という箇所は不要だと考えます。	「再活性化」という表現につきましては、より多くの方に資料や活動に触れていただくこと、また、周辺環境の変化に対応しつつ、多様な市民が博物館を利用しやすくなるような環境を整えることも含んだ表現として用いております。
3	P4の主な経緯で『平成 8 年度（1996）「文化財保護法」第 53 条規定に基づく公開承認施設として承認。』の記載が抜けた理由は何でしょうか？ 現在の市立博物館は規定に基づいて承認され、重要な文化財を貸し出せると認められた施設だということが証明されているのです。これを記載しないということは、今の博物館の形を変える心づもりがあるのでしょうか？『公開承認施設として承認。』の記載を書き加えて下さい。博物館が博物館たる大事な経緯をなかったことにしないで下さい。	現在は公開承認施設として承認を受けていないことから、記載を削除しています。 再度の承認に向けて取り組んでまいります。

< 第 4 章 抽出した課題 に係る部分 >

No	ご意見の概要	市の考え方
4	P28『抽出した課題』について。ここには記載されていませんが、まずは人が足りていません。その理由は和歌山市から出る予算が少なすぎるということ。研究員が増えれば余裕ができて自分の研究も企画展等もはかどるし、市民や学生に向き合う時間ももっと取れるのと思います。（人数がいれば）生徒や学生向けの展示のときは、全部の小・中学校で出前授業をしてから見学に来てもらうことができるし、博物館に予算をもっと付けて下さい。	本計画では、具体的な人員配置や予算規模については記載しておりませんが、今後、博物館業務を円滑に遂行するため、関係部局と連携しながら、適切に対応してまいります。

<第5章 基本理念と基本方針 に係る部分>

No	ご意見の概要	市の考え方
5	第4章まではよくまとめられ、同感だが、第5章以降、博物館の理念を、教育・学術・文化より賑わいの創出に重きを置くのはそぐわない。	理念については、教育や歴史・文化及び賑わいの創出も同様に重要と考え、現行通りとします。

<第6章 取組 基本方針1 に係る部分>

No	ご意見の概要	市の考え方
6	P31基本方針1の『主な取組』で、『公共施設マネジメント方針に基づき、老朽化した施設の長寿命化を図る…』とありますが、具体的にどうということなのでしょうか？ 博物館の統廃合や他業種との複合化を考えているのではないですか？ 繰り返しますが、運営は直営で、が基本です。直営をベースに置いて工夫するのなら歓迎します。	「公共施設マネジメント方針に基づき長寿命化を図る」との記載につきましては、老朽化した建物を引き続き安全・快適にご利用いただけるよう、必要に応じた修繕や設備更新等を行っていくという趣旨です。

<第6章 取組 基本方針2 に係る部分>

No	ご意見の概要	市の考え方
7	P32①-3 各種講座について。古文書講座は、参加することで地域の歴史に対して知識を深めることができます。以前は、県の文書館でも古文書講座が行われていましたが今は、市の博物館のみです。古文書が読める人材が減っていること、地域の歴史の掘り起こしの面からも(古文書講座を)続けていただきたいです。	地域の歴史や古文書を読み解く人材育成は重要と認識しており、今後も可能な範囲で講座の実施に努めてまいります。

<第6章 取組 基本方針3 に係る部分>

No	ご意見の概要	市の考え方
8	P33②-2、「おでかけ歴史講座」「校区探検」などが良いと思いました。	引き続き、「おでかけ歴史講座」等の取組を続けてまいります。
9	P33④、これまで友の会組織がなかったことに驚いているが、これから創設に向けて内容を検討するのであれば、会員の特典について検討するよい機会だと思う。入場料金の割引や講演会・関連イベントに優先的に参加できることだけでは会員特典にはなりづらいと思う。博物館が友の会という組織に何を期待しているのかをはっきりとさせなければ、会員のために何かイベントをするというような本末転倒なことが起こりうるので注意が必要だと思う。	友の会の組織づくりについては、ご意見を参考に、検討していきます。
10	P33④博物館友の会について。応援したり、子どもを含め市民と一緒にイベント出来るよう、念願の友の会を！	計画に記載のとおり、友の会の創設を検討しております。
11	P33④市民参加、市民協働を進めることには大賛成です。博物館は市民の宝です。本市には各地に有名無名、組織・個人の市民ボランティアがおられ、これらの方々から、あまり知られていない本市の魅力やお宝情報などを得て、企画展示やコーナー展示に結び付けることができるかも知れません。	市民参加・協働は、博物館の魅力や活動の幅を広げるうえで重要と考えており、ボランティアとの連携についても、総合的に勘案して判断いたします。
12	P33④博物館の運営は直営で、アイデアは市民から募集してみるのはいいかかでしょう。そのきっかけとして40周年を記念して「博物館友の会」を結成したらいいと思います。	今後の取組の参考とさせていただきます。

13	P33 人を育てる博物館について。私自身、大学在学中に博物館学芸員資格を取得するために、実習を受け入れてくれる美術館や博物館などにお世話になった経験がある。和歌山市立博物館も実習を受け入れていると思うが、そのことが第2次和歌山市立博物館基本計画(案)に記載されていない。学芸員を養成する一端を担っていることは博物館にとっても重要な柱であると思うので、ぜひ、主な取り組みに、学芸員実習を受け入れていることを加えてほしい。	当館では例年、博物館実習を実施しており、学芸員資格取得を希望する大学生を受け入れております。博物館実習については、大学側からの依頼にもとづき受け入れており、計画案に記載するものではございません。
----	--	--

<第6章 取組 基本方針4 に係る部分>

No	ご意見の概要	市の考え方
14	P34④-1、SNS 発信については、Facebook や Instagram による発信もお願いしたいと思います。	今後の取組の参考とさせていただきます。
15	本案では言及されていませんが、紀伊風土記の丘との連携も不可欠だと思います。県立博物館とは、統合ではなく、連携が必要だと思います。	県立博物館や紀伊風土記の丘とは現在も連携しており、引き続き協力してまいります。

<第7章 計画を進めるにあたって に係る部分>

No	ご意見の概要	市の考え方
16	P36(1)「民間のノウハウの活用可能性」について。博物館は営利ではなく文化的価値を求め、高めるものであり、独立採算にはそぐいません。だからこそ公が支えなくてはならない。“民間のノウハウの活用”などという理念なき言葉で、民営化や指定管理等に道を開いてはなりません。入館者数の増加状況にのみ目を奪われ、本来業務をないがしろにする事は絶対にやめて下さい。	博物館は文化的価値を高める社会教育施設であり、その本来業務を大切にしていく必要があると認識しています。

17	P36(1)「民間のノウハウの活用可能性について引き続き研究し、(中略)体制の整備に努めます。」と記載されていますが、これでは和歌山市駅内の市民図書館(ツタヤによる管理運営)と同じ考えではありませんか。まるで、丸投げのように聞こえます。確かに「(2)市民参加、市民協働で運営に取り組んでいく必要があります。」と記載がありますが、付け足しのように思えてなりません。博物館の運営努力は公務員が行うべきです。民間のノウハウを聞くことは大切ですが、あくまで参考意見とするべきで、その意見を取り入れるか否かは市民とともに考えていきましょう。民間任せにしては、大事な資料等が紛失する危険性もあります。	現時点では、管理運営に関する民間のノウハウ活用については可能性を研究する段階であり、引き続き方針等を検討してまいります。
18	P.36の(1)の中に『効率的な運営に努めます』と書かれていますが、何を効率的にするのか、具体的に教えて下さい。 文化と効率…相性が悪くないですか？	「効率的な運営に努めます」という記載につきましては、限られた人員や予算の中でも、博物館の本来業務である資料の収集・調査・保存・展示・教育普及といった活動を継続的かつ安定的に実施していくために体制を整えていくという趣旨で記載しております。
19	P.36(3)の中に『誰もが訪れやすい博物館へ』と書かれていますが、アンケートでは2人に1人が今の常設展を見たことがないのに、常設展の大幅な見直しをするのですか？現在の常設展も見所が満載なのに勿体ないです。 そして誰もが訪れやすいとは、トイレなどがバリアフリー化する方向なら理解できます。あとは点字、音声を充実させるとか、県立博物館のように触れる展示物を増やすとか。	貴重なご意見ありがとうございます。市民のニーズに応じた展示の工夫など、よりよい博物館を目指して検討を進めます。 また、バリアフリーなど、来館者の利便性向上にも努めてまいります。
20	P36(3)「リニューアルを進めます」について。建築士会も大変注目している重厚な近代建築の外観はそのまま、内装のみリニューアルを。地下駐車場やトイレの水漏れの修理を。	参考意見とさせていただきます。地下駐車場やトイレについては、来館者の利便性向上に努めてまいります。

21	P37 利用者数目標について。 まず、博物館は観光場所ではないから、入館者数に拘る必要はありません。入場者数で博物館の良さを語ることはできません。県立博物館入館者数に対し、市立博物館の数字は悪くないと思います。予算も少なく、駐車場も分かりにくく、市民図書館も移動してしまったなかで、よく頑張っているという印象です。 私は博物館に『にぎわい』を求める昨今の風潮はいかがなものかと思っています。直営の運営を辞めてまでにぎわいを求めることが正解だとは思いません。目標の 35,000 人に届かなかったとして、直営を手放すつもりではないかと危惧します。	今後の博物館運営の参考意見とさせていただきます。 なお入館者数や利用者数については、博物館の状況を可視化し、活動の成果を客観的に捉えるための一指標として示しているものです。 より多くの方に博物館を知っていただき、資料に触れていただける機会を広げていくことが、結果的に市民の学びや関心を深めることにつながると考えております。
----	---	--

<その他、計画全体に関するご意見>

・博物館の運営に関するご意見

No	ご意見の概要	市の考え方
22	市立博物館は、地域に根ざした調査研究や教育連携、文化財の保存継承に貢献している。これは直営であるからこそ維持できていると思う。ただし、職員数は今よりも増やす必要があるのではないか。 ただ、建物の老朽化と広報費の不足がもったいない。市民にとってだけでなく、国内外へ向けた文化発信の拠点であってほしい。リニューアルも単なる改修ではなく、世界からも注目されるような建物にし、市民の拠り所となる存在であってほしい。ホームページの刷新や、資料データベースの整備をすることで、潜在的利用者が増える考える。	来館者にとって魅力的な展示環境・滞在環境の整備については、いただいたご意見を参考にしながら、在り方を検討してまいります。
23	本来業務と展示やイベントなどの充実には、人員確保も必要です。学芸員や職員の増員が望まれますが、せめて優秀な学芸員さんを逃さないために、処遇改善をお願いします。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の博物館運営の参考意見とさせていただきます。

24	学校見学など、子ども向けのサービスについて。遠足や校外学習で子どもたちが訪れた時の食事スペースがないと、教員としては候補地にしづらいのではないかと。打ち合わせをするにしても、まず、受け入れるための食事スペースの確保だと思う。それは大人向けにも言えることで、私自身、キーノ和歌山に駐車し、博物館まで歩いて展覧会を見て、キーノで食事をする人が多い。	常設展の見直しやエントランスの整備の際には、いただいたご意見を参考に検討してまいります。
25	和歌山市立博物館は教育面や観光面でも活用できるものがあります。博物館法改正により求められる役割も広がっており、活動の充実に向けて予算面や人材面での市の取り組みが必要です。施設も老朽化しており、改修による改善が望まれます。また、団体客用の駐車場や昼食スペースの整備、和歌山市駅からの動線整備も含めた街づくりの計画が必要ではないでしょうか。	博物館法改正の趣旨も踏まえ、展示や学習活動の充実に努めてまいります。また、今後のリニューアル等への取組の中で、関係各所と連携しながら改善に取り組んでまいります。
26	徳川御三家の一角を担った紀州藩のお膝元でありながら、それを伝える文化財はあまり残っておらず、和歌山市の歴史のハイライトともいえる江戸時代の紹介が難しいという条件があります。先史から近代までの資料を充実させ、多様なテーマや方法で歴史を学べる工夫を実現することが望まれます。 市長以下担当の市役所職員、市議会議員らも、他都市の博物館を視察し、事例を参考にして施設を充実させていかれることを希望します。	資料の充実や歴史を学べる工夫については、これまでも実施してきましたが、引き続き、他都市の事例等も参考にしながら、よりよい博物館を目指した取組を進めてまいります。
27	計画案での指摘のように、博物館の本来業務・使命は、調査研究と資料の保存、市民に対しての展示・教育・情報提供です。これを担保するためには、公立公営であることが必須です。管轄も教育委員会に戻すべきです。観光・賑わいへの寄与は、あくまで付加的なものであり、産業振興局の管轄下におく事は、この付加的ものに本来目的をシフトさせる事に他なりません。	基本計画でも調査研究や資料保存、展示・教育活動を核とした取組を掲げています。今後も、本来の目的を踏まえた博物館運営に努めてまいります。

28	アンケート結果から、隣接する市民図書館や市民会館が引き離された事が、来場者減の一因になっていると分かり、大変残念です。これらの移転にあたって市民の意見を十分に汲み取らなかった結果です。本気で市民の意見を取り入れることの重要性を教訓として受け取って下さい。今となっては、せめて跡地に誘致された大学との連携を図られてはいかがでしょうか？	計画に記載のとおり、周辺の施設・企業・団体等との連携に取り組んでまいります。
29	博物館の立地について。市民図書館がキノ和歌山に併設される形で引っ越しをして、市民会館が和歌山城の北側へ引っ越し和歌山城ホールとして開館したため、博物館だけが取り残されたように感じる。今また、市民会館跡は、ホテルやレストランが入る複合施設となる計画だが、博物館と複合施設の間にリハビリテーション専門職大学があるため、ますます博物館が置いてけぼりになりかねない。駅や周辺施設、店舗も巻き込んで、アクセスの要である北大通をミュージアムロードのようなメインストリートに整備できればよいと思う。	基本方針 4 にもあるように、周辺の施設・企業・団体等との連携の必要性は認識しております。いただいたご意見は、今後の博物館運営について検討する上での参考意見とさせていただきます。
30	博物館は現状でいいと思います。建物も美しく、親しみを感じます。催し物も良くてきています。観光にイベントに博物館を利用しないでください。図書館が指定管理になる時、“にぎわい”とずいぶん言われましたが、和歌山市に居住する人にとって観光が住みやすいところではありません。 交通網の整備もなく、博物館に人を寄せるというのは無理です。今まで通り地道に小・中・高校生の学習に利用してほしいです。直営で職員の身分も保証され、良い仕事ができる環境にして、積み上げていくことが、充実した博物館として認められるのだと思います。	今後の博物館運営の参考意見とさせていただきます。 より多くの方に博物館を知っていただき、資料に触れていただける機会を広げていくことが、結果的に市民の学びや関心を深めることにつながると考えております。 小・中・高校生の学習への利用など、地道な取組も継続してまいります。

31	博物館の見た目が変わってイベントが派手になったところで本来の博物館の持つ教育、調査研究、保存、継承、などの意味が失われては元も子もありません。それに研究員さんの人件費はコストではありません。彼らは和歌山市の財産です。 そして和歌山市に一つくらい古臭いと言われるような施設（本当はバブルの頃に建てられた重厚かつ小綺麗な施設）があることを私は誇りに思います。日本ではスクラップ＆ビルドが繰り返され貴重なものが失われてきましたから。	より多くの方に博物館を知ってもらうきっかけづくりのため、イベント実施回数を増やしていく計画としております。
32	博物館の建物について。昭和レトロな懐かしい雰囲気が好評のようであるが、館内に入った瞬間に「暗い」雰囲気であることは歪めないと思う。展示室が暗いのは、展示品の保護のためには致し方ないことだと思うが、館内は明るく開放感がある方がよい。また、飲食店の併設などについても、純喫茶のような店舗やメニューだと建物の雰囲気に合うと思う。	これまでも、玄関ホールを明るい雰囲気にするよう努めておりますが、引き続き、開放感のある館を目指してまいります。

・展示に関するご意見

No	ご意見の概要	市の考え方
33	アンケートにより関心があるとされたジャンルだけでなく、あまり知られていなかった事や、新たな分野への関心を開拓することも重要だと思います。そのためには、外部出身者の声を拾うことも有効かと思います。和歌山市内においても、古民家・歴史的建造物や史跡・社寺と社寺林・庭園（私有を含む）・堤防・里山・干潟・磯など、規模は小さくとも誇るべき宝が沢山あるのに、和歌山市民の方がご存じない、或いは価値を認めていない、という場面に度々出くわしました。それらに関する資料や情報の展示、現地見学会などは、観光・賑わいにもつながると思われます。	引き続き、展示や史跡散歩などを行い、和歌山市の歴史について関心を持っていただけるよう取り組んでまいります。

34	コロナで入館数が減ったのと、(夏の特別展が)企画展になっているのもありますが、学芸員の世代交代での内容や利用者の世代交代で興味が減っているところもあるのではないかと思います。昔よりは常設展に深みや入れ替えがあり、よいと思います。	今後も、常設展の展示替えや企画展の充実、情報発信の工夫に努め、より多くの方に来館していただけるよう努めます。
35	環境問題と、それらの解決に向けた市民や企業の取り組み紹介の展示も希望します。	よりよい展覧会開催のための参考意見とさせていただきます。
36	鉄道などの交通については、その変遷が、市民生活や市街・市場の盛衰にどのように影響したか、についても学べる展示を希望します。	よりよい展覧会開催のための参考意見とさせていただきます。
37	市民アンケート意見にある各種戦跡展示にも賛成します。戦争体験者がいなくなる時代に、戦跡の現物は、臨場感と現実感を提供してくれます。これらの保存と提示、現地見学も望まれます。被害の歴史だけでなく、加害の歴史についても伝えることが大事です。普通の一般市民が、何故、どのように戦争賛成に向かい、反対する者を“非国民”などと呼んで抑圧・排斥していくことになったのか？ またその時、障害者や朝鮮人などをどのような状況に追い込んだのか？ などについても学べる展示も希望します。	戦争に関する展示は、毎年ホール展示などを開催し、継続的に取り組んでおります。
38	他には、和歌山ネル・皮革・染色などの地場産業の歴史、そして公害・汚染と回復の歴史などの展示も希望します。	よりよい展覧会開催のための参考意見とさせていただきます。
39	戦後 80 年空襲展や映画は本当にいい企画でした。	よりよい展覧会開催に努めてまいります。

40	戦後 80 年の空襲展示は地味だが、大切なもの。	よりよい展覧会開催に努めてまいります。
41	お城や徳川だけでなく、庶民の視点からの歴史・文化を伝えて欲しい。	和歌山城や紀州徳川家に関する展示において、庶民側の資料は欠かせないものとして、これまでも展示・研究・資料収集を進めてまいりました。引き続き、よりよい展覧会開催に努めてまいります。
42	戦前～戦後のコーナーのところにあるテレビ映像が壊れていて見るできません。 大変貴重な当時の映像が入っていて、もう一度見ることができるようになりませんか？ たぶん予算面の問題かと思うのですが、このまま埋もれさせるのは勿体ないのです。	ご不便をおかけして申し訳ございません。現在は復旧しております。

・交通アクセスや駐車場に関するご意見

No	ご意見の概要	市の考え方
43	バス停(湊本町三丁目上り)を西に 140m 移設もしくは新設するのはどうか？バス停の名称にも「博物館前」を含める検討をしたほうが良い。	来館者の利便性向上という観点から、参考意見とさせていただきます。
44	博物館の地下有料駐車場は博物館を利用すれば一定時間無料になるように計らえないか。	地下駐車場の利便性向上については、引き続き検討を進めます。
45	博物館へのアクセスの問題ですが、地域の子供でも来館できる交通アクセス(バスなど公共交通機関)があるかとか、家族で来るにしても駐車場(ゆっくり展示をみると駐車料金が低いのではないかと、入館料をはらっている来館者には一定以上は負担させないなど)の配慮がほしい。	来館者の利便性向上という観点から、参考意見とさせていただきます。

46	駐車場の問題について。市民図書館が隣接していた頃も、地下駐車場を利用するのは躊躇われた。鳩の糞害と、水溜まりが原因で、とても車を停める気にはなれなかった。市民図書館が引っ越しをして、地上駐車場が和歌山リハビリテーション専門職大学の敷地となってしまったため、博物館の駐車場問題は深刻だと思う。地下への誘導等、サインも必要だが、安心して車が止められるような整備が必要だと思う。	現在、県道沿いには地下駐車場への案内看板を設置しており、改善が進んでおりますが、引き続き、環境の整備や案内の工夫などに取り組み、地下駐車場の利便性向上に努めてまいります。
47	大浦街道のバスの増便をお願いします。博物館前に横断歩道を設けて下さい。ホームページのアクセス情報に、和歌山市内での移動方法、最寄りのバス停を記載しておいて下さい。(北向き:小野町三丁目、南向き:湊本町三丁目または小野町三丁目かと思います)	ホームページへの記載については、利用される方の利便性を考慮し、よりよい方法を検討いたします。 また、利用者の利便性向上に引き続き努めてまいります。

・その他のご意見、ご提案、感想など

48	市民アンケートで存在を知り、先日初めて博物館を訪れたがなかなか良かったので、近々始まる企画展を見に足を運ぶ予定です。来場者が40人/日はさみしいのでもっと来場が増えると良いですね。	多くの方に来館していただけるよう魅力ある展示会の開催に努めてまいります。
49	アンケートによると、私語に厳しいという意見があるようだ。確かに、展示に関係のない世間話などを大声でされていると迷惑至極だが、展示に関することであれば多少のおしゃべりについては、博物館も寛容になってほしいと思う。むしろ、しゃべりたい人にはしゃべってもらう場を設けてみてもよいと思う。図書館のビブリオバトルのようなイベントをして、自分がおもしろいと思った展示品について語ってもらうイベントなどを定期的に行ってみるのもよいと思う。	昨年度から「しはくファミリーデー」などの、おしゃべりしながら観覧できるイベントも開催しております。博物館の雰囲気や展示を大事にしつつも、開かれた博物館を目指した取組を進めてまいります。

50	缶マグネットや缶バッジなどのミュージアムグッズは、大きさにもよるが、ガチャガチャとして売するようなスタイルを取り入れるなど工夫をすれば子どもたちは喜ぶと思う。	ミュージアムグッズの販売等については、来館者の楽しみのひとつとなると考えており、今後の企画・販売の参考とさせていただきます。
51	旅が好きでいろいろな町で博物館や美術館を訪れます。和歌山市ももっともつと様々な工夫をしていい博物館にしていってほしいです。 そして、やはり市が責任をもって企画運営していけるよう、人も育て、和歌山の文化度をあげることに力を注いでください。期待しています。子どもたちが学べる企画もよろしくお願いいたします。	今後も創意工夫を進め、よりよい博物館になるよう努めてまいります。
52	2階女性トイレの水漏れを早急に修理して下さい。	ご不便をおかけして申し訳ありません。できるだけ速やかに修理いたします。
53	館外事業について。学芸員がされ、館外で講演会を行うのはよいことだと思うが、そのことが博物館の集客に結びつかないと、館内の仕事に追われている学芸員が、ただただ忙殺されるだけという結果になりかねないので、対策が必要だと思う。	館外活動等により、来館者以外にも市の歴史文化に触れていただく機会を作ることは、重要な使命だと考えています。館内業務とのバランスを取りつつ、進めてまいります。
54	街歩き・見学会・観察会も増やして欲しいし、そのためにも教育委員会の管轄下にある方が効果的・効率的だと考えます。学校・学習活動との連携においてはなお更です。	今後のイベントの参考とさせていただきます。学校・学習活動とは、引き続き連携してまいります。
55	インターネットモニターの回答では「手元に置いておきたくなるようなパンフレットやチラシ」を切望している様子うかがえるが、全く同感である。マイクロソフトのアプリで素人が作っているようなデザインのチラシなどでは、集客は見込めないと思う。また、博物館の存在そのものも知られていなかったり、県立博物館と混同してしまっている様子もうかがえる。和歌山市の玄関口である南海和歌山市駅に看板サインを出すなりして、和歌山市に市立の博物館があることをアピールすることができればよいと思う。	広報物やチラシなどのデザイン向上や PR の強化は重要と考えており、今後の改善に向けた参考とさせていただきます。

56	NHK 和歌山放送局や、テレビ和歌山には、もっと企画展示やイベント情報などの発信をしてもらいたく、そのためには報道機関に資料提供するだけでなく、積極的に働きかけて欲しいです。	各マスメディアには、これまでも企画展やイベント情報などを提供し、発信にご協力いただいております。引き続き、積極的な働きかけをしてまいります。
57	全体を通して元号しか記載がなく、平成と令和が混じっているのでカッコ()で西暦を付け加えていただくと分かりやすいと思いました。	西暦との併記も検討しましたが、全体的な見やすさという観点から、本文及びグラフなどは元号のみといたします。P4 の主な経緯のみ、()書きで西暦を表記しております。
58	親しみやすい受付など、ほっこりする空間が大事。	今後も親しみやすい博物館づくりを目指してまいります。
59	旧市民会館跡地、KNOT 和歌山が令和 11 年までに開業している前提かが気になる。現状の跡地は草が生い茂っており見栄えが悪いので草刈りくらいはしたほうが良い。	旧市民会館跡地については、定期的な草刈りや清掃などの実施により、今後も適正な維持管理に努めます。
60	学芸員、職員、市民の努力が実を結んで、今の博物館になっている。ホームページ、SNS がよく読まれ、認知度が高い。他府県の来館者に会って話すと、市博の展示品、解説のレベルの高さを評価される。展示にはタイムリーに大河ドラマとの連携、市民の紀伊中ノ島駅保存活動の取入れ、「ピースフェスタ」など子供や市民発信との連携、年 10 回の好評の古文書講座などなど、このような取り組みを少ない学芸員さんで回しているのはつらい。ぜひとも人手に予算を多くつけるべき。	ご意見ありがとうございます。今後も質の高い展示・解説に努めます。博物館運営の参考とさせていただきます。
61	市政、特に文化行政に関心がないわけではない自身ですら、パブリックコメントを募集していることをつい最近まで知らなかった。LINE で和歌山市の公式アカウントの登録をしており、時折、お知らせが届くが、パブリックコメント募集期間は、こまめに LINE で呼びかけるなどすればよいと思う。	今後のパブリックコメント実施の参考意見とさせていただきます。

62	今回に限らず、和歌山市のパブコメ募集のやり方は大変不親切で不誠実だと思います。市民にとっては何の事前情報も概要説明もないまま、膨大な資料だけ提示され、意見を出せ、と。市民が日常生活の中で、部局内資料のような膨大な資料を読み込んで、意見を書くのは極めて困難です。要点を提示し、概要版を添えて下さい。	今後のパブリックコメント実施の参考意見とさせていただきます。
63	和歌山市にインターネットモニターという制度があることも初めて知った。モニターの回答については、和歌山市のホームページ上で公開されているアンケート調査結果には興味深い回答が多く、一部、関係者か？と思えるほどの熱心なファンもいるようなので、(パブコメの)期間中に LINE 配信などすれば、一定の回答は得られるのではないかと思う。	今後のパブリックコメント実施の参考意見とさせていただきます。